

中山間地域旧小学校区の活性化方策に関する研究

農林生産学科 講師

保永 展利

目的

島根県の中山間地域では、過疎・高齢化によって集落単独では活性化活動が限定されることから、地域社会の維持が困難になっている。そこで、複数の集落や組織が連携することによって、地域社会を維持する試みが近年注目され、政策的な支援も行われつつある。なかでも旧小学校区領域は、地域住民が愛着をもちやすく、集落間交流や生活文化に基づいた発展を行いやすい領域と考えられる。そこで本研究では、雲南市吉田町（旧吉田村）を対象とし、島根大学と雲南市吉田町住民が連携することで、中山間地域旧小学校区での都市農村交流の方法および地域活性化拠点づくりの方法を検討し、地域活性化や人材育成に資することを目的とした。

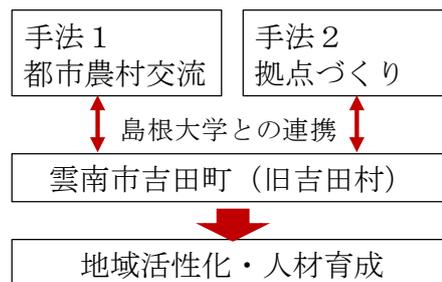


図1 本研究の概要

研究成果

1. 都市農村交流模擬ツアーの実施

都市農村交流の方法を検討するため、雲南市吉田町の観光資源調査および吉田ふるさと村・雲南市地域振興課への調査を踏まえ、田舎暮らしを考える模擬ツアーとして「都市部と田舎の交流を考えるツアー」を実施した。プログラムは、①すがや収穫祭、②空き家見学、③雲南市のUIターン事業説明、④UIターン者との話し合い（田舎暮らし、農家民泊）の順で行った。その結果、すがや収穫祭やUIターン者との話し合いなど地元住民との交流のあるプログラムで参加者の満足度が高いことが明らかになった。課題は、宿泊を含むツアーは田舎暮らしの内容的な充実が難しいこと、学生にとって料金が高くなることから難しいこと、バスの使用コストの負担などがあげられる。また、受け入れ側の問題として、地域では兼業農家が多く、農家民泊に対する意識は高くないことがある。農家民泊に関するメリットや妥当な料金設定の周知、兼業農家でも取り組めると意識の醸成など、都市農村交流を行っていくには長期的な取り組みが必要であることが確認された。



図2 都市農村交流模擬ツアーの様子（左：空き家見学、右：田舎暮らしに関する話し合い）

2. 地域活性化拠点づくりの特徴

拠点づくりの方法を検討するため、集落活動センターとして先進的に取り組んでいる高知県の3地域（いしはらの里（土佐町石原地区）、はつせ（梶原町初瀬地区）、北郷（黒潮町北郷地区））に対して聞き取

り調査を行った。その結果、集落活動センター以前から、小学校区単位での教育支援活動が組織されていたことや小学校の廃校が決まる中で独自の地域づくり計画を作成したこと、地域外との交流活動が盛んであったことなどの社会的基盤が現在の拠点づくり活動に影響していることが明らかになった。吉田町民谷地区との関連からみると、上記の社会的基盤がまだ十分形成されていないと考えられ、地区単位での社会的活動（コミュニティの活性化や地域外との交流）を続けていくことが重要と考えられる。地域活性化拠点づくりにはまた域外マネーの獲得も重要であるが、地域外との交流を含む地域資源が異なるため獲得方法に差異がみられる。今後、域外マネーの獲得額に差が現れてくると予想される。



図3 地域活性化拠点づくり先進事例調査の様子（左：はつせ、右：いしはらの里）

社会への貢献

調査主体である学生側はツアーを実施・企画することや拠点づくりの難しさを経験的に理解することができ、地域貢献人材として就職後の活動が期待される。地域側は若い人材と交流することで勇気づけられる面がある他、地域振興活動の質の向上が期待される。都市農村交流や拠点づくりには、息の長い取り組みとなるため、大学と地域住民との交流活動を継続して行っていくことが課題である。

次年度に向けた検討状況

都市農村交流との関連では、模擬ツアーが日帰りプランに留まったことから、農家民泊あるいは地域住民との交流向上に向けた調査・連携活動を行うことがまずは重要であろう。拠点づくりとの関連では、転出者の墓参りの際の宿泊場所としての役割も含めて、拠点における宿泊機能をもたせていくことが重要である。地域住民の交流能力の向上を目標とした調査・連携が次年度以降の検討課題である。

学会発表等（現地報告）

1. 農村ツーリズム班「吉田町 UI ターンを考えるツアー」、島根大学生物資源科学部ミッション“中山間地域活性化”および農村経済学教育コース“農村調査分析論”合同報告会（於：雲南市吉田町民谷集落センター）、2015年2月1日。
2. 保永展利・中筋昂太・佐野翔平「先進事例における拠点づくりの特徴」、島根大学生物資源科学部ミッション“中山間地域活性化”および農村経済学教育コース“農村調査分析論”合同報告会（於：雲南市吉田町民谷集落センター）、2015年2月1日。

報告書等

1. 農村ツーリズム班「吉田町 UI ターンを考えるツアーの提案」、2014年度農村調査実習報告書、2015年2月。
2. 中筋昂太「中山間地域における拠点づくりの特徴と課題」、2014年度島根大学卒業論文（保永研究室）、2015年2月。